4-168-284-**11**(1)

CDラジオ カセットコーダー

取扱説明書・保証書

CFD-W78

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

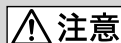
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

目次

⚠警告•⚠注意 4

接続と準備

付属品を確かめる 8
電源を準備する 9

基本的な使いかた

CDを聞く 10
ラジオを聞く 12
テープを聞く
　－TYPE I(ノーマル)テープ専用 14
録音する
　－TYPE I(ノーマル)テープ専用 16

CD

聞きたい部分を探す(サーチ) 18
繰り返し聞く(リピート再生) 18
順不同に聞く（シャッフル再生） 19
聞きたい曲を好きな順に聞く
　（プログラム再生） 20

ラジオ

放送局を記憶させる 21
記憶させた放送局を聞く
　（プリセット選局） 21

外部マイク

マイクで話す 22
マイクミキシングする 23

タイマー

時計を合わせる 24
音楽で目覚める 25
音楽を聞きながら眠る 27

その他

使用上のご注意 28
故障かな?と思ったら 29
お手入れ 32
保証書とアフターサービス 33
主な仕様 34

付録

各部のなまえ 35
索引 36

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

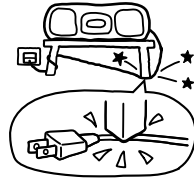
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない

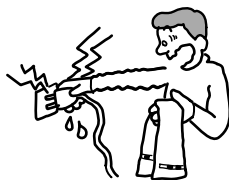
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。
長期間の外出·旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ･破裂･発熱･発火･誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

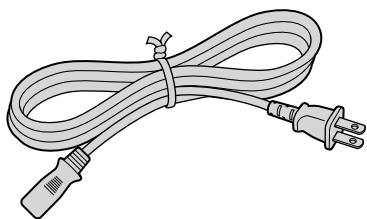
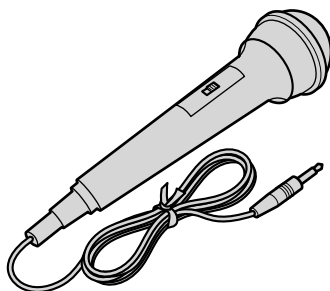
⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯･保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ･炎天下の車中など、高温の場所で使用･保管･放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

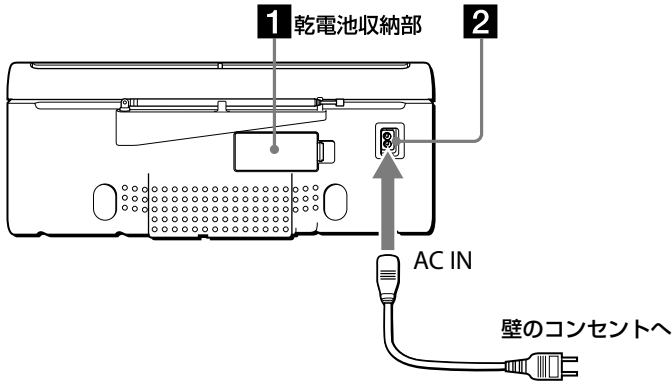
付属品を確かめる

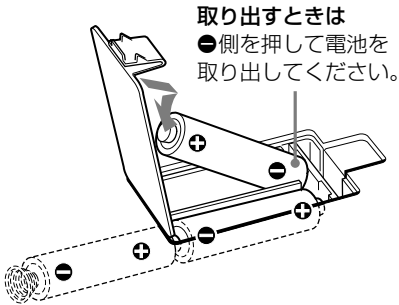
●電源コード（1本）

●外部マイク（1本）

●取扱説明書・保証書

●ソニーご相談窓口のご案内

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

電源を準備する

1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。

単3乾電池3個（別売り）

ご注意

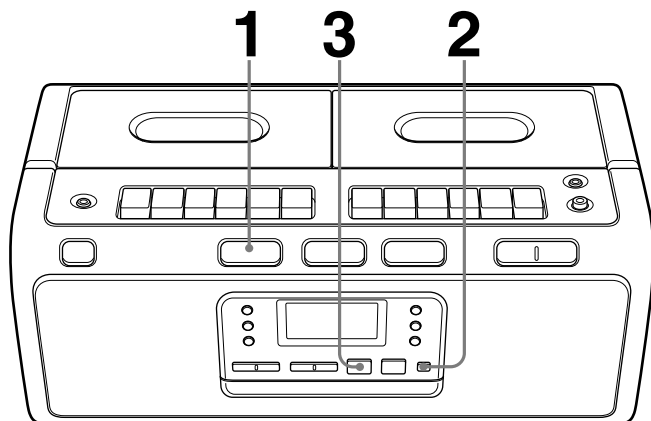
メモリー用乾電池のみでは、本機は動作しません。必ず電源コードを接続してお使いください。

2 電源コードを接続する

本機のAC IN端子へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

ちょっと一言

乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDトレイの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。

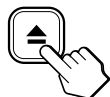
CDを聞く

準備➡電源コードを接続してください(9ページ参照)。

1

CDボタンを押す。

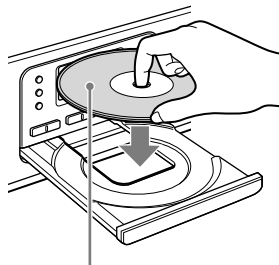
自動的に電源が入ります。

2

CD開/閉

⏏CD開/閉ボタンを押してCDトレイを開け、CDを入れる。

シングルCD(8 cm CD)は、トレイ内側の円に合わせて置いてください。

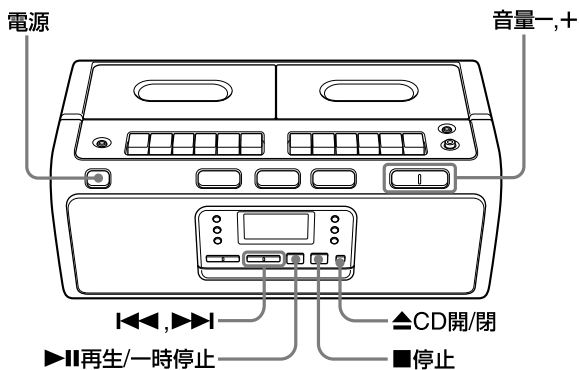
文字のある面を上に

3

再生/一時停止

►II再生/一時停止ボタンを押す。

CDトレイが閉まり、再生が始まります。

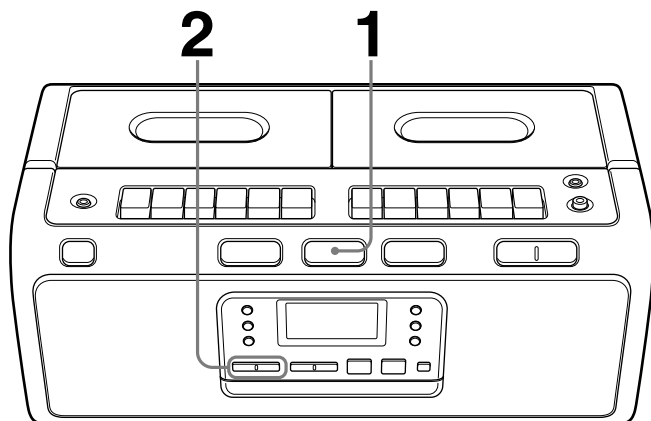
表示窓

その他の操作

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	音量＋*、－ボタンを押す
再生を止める	■停止ボタンを押す
再生中に一時停止する	▶II再生/一時停止*ボタンを押す もう一度押すと再生が始まる
曲の頭に戻す	⏮ ボタンを押す
次の曲へ進む	⏭ボタンを押す
CDを取り出す	⏏CD開/閉ボタンを押す
電源を入/切する	電源ボタンを押す

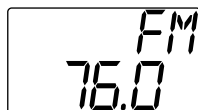
* ▶II再生/一時停止ボタンと音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

ご注意

CDトレイの前にものを置かないでください。
コーヒーカップなどが置かれていると、CDトレイが開かれた際に倒れてやけどの原因となることがあります。

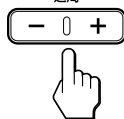
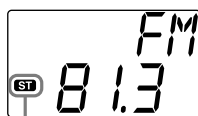
ラジオを聞く

準備➡電源コードを接続してください(9ページ参照)。

1

ラジオ・バンド切換/オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。

もう一度押して「FM」、「AM」を切り換えます。

表示窓

2

選局+または−ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、選局+または−ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

表示窓

FMステレオ放送を受信したときに表示

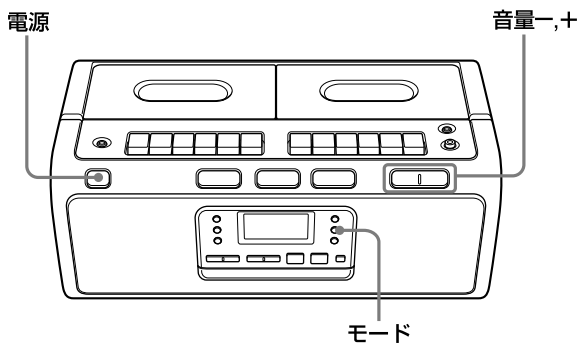
その他の操作

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	音量＋*、ーボタンを押す
電源を入/切する	電源ボタンを押す

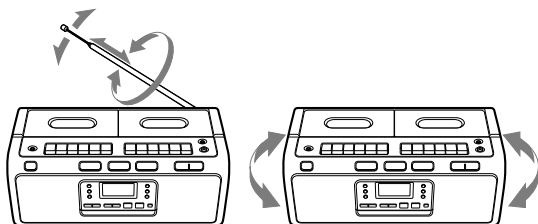
* 音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

受信状態をよくする

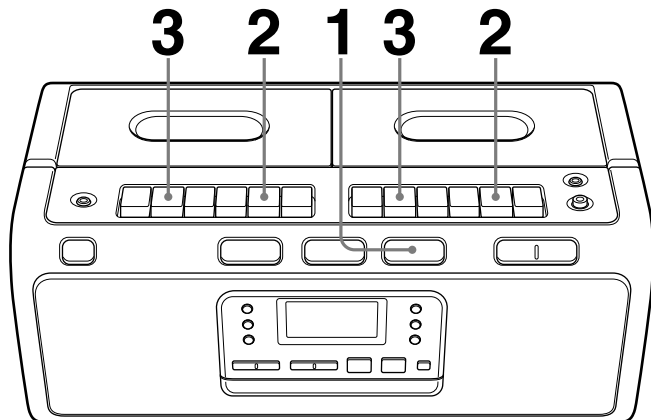
FM放送のとき
ロッドアンテナを伸ばし向きを変える。

AM放送のとき
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

ちょっと一言

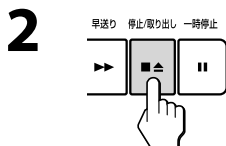
- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。

基本的な使いかた

テープを聞く —TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡電源コードを接続してください(9ページ参照)。

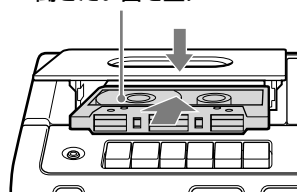
1

テープボタンを押す。

自動的に電源が入り、音源がテープに切り換わります。

2

■≜停止/取出しボタンを押してカセットぶたを開け、突きあたって止まるまでカセットを入れる。

カセットを入れるときは、テープ面をふれないように押してください。TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

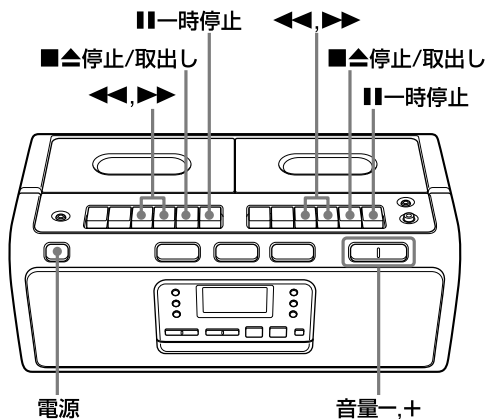
カセットを入れたら、カセットぶたを押して閉めます。

3

►再生ボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	音量＋*、－ボタンを押す
再生を止める	■⏏停止/取出しボタンを押す
早送りや巻戻しをする	◀◀または▶▶ボタンを押す
再生中に一時停止する	❚❚一時停止ボタンを押す もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■⏏停止/取出しボタンを押す
電源を入/切する	電源ボタンを押す

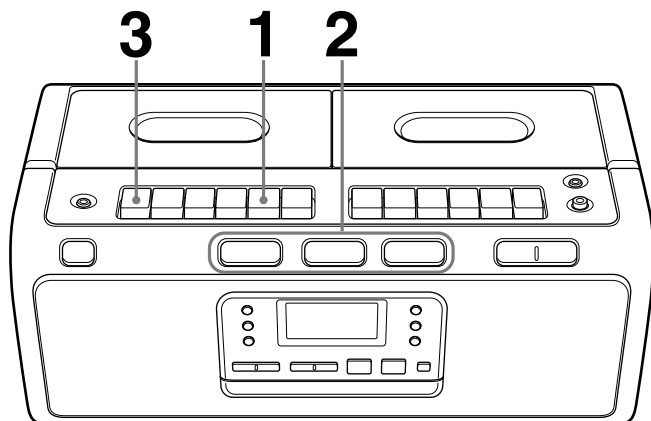
* ▶再生ボタンと音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

ご注意

再生中にもう一方のデッキのボタンを押すと、再生速度が変わってしまうことがあります。

基本的な使いかた

録音する－TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡電源コードを接続してください(9ページ参照)。

1

デッキAの■≜停止/取出しボタンを押してカセットぶたを開け、突きあたって止まるまで録音用カセットを入れる。

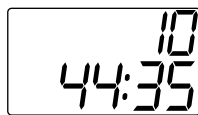
録音をする面を上に

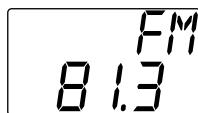
カセットを入れるときは、テープ面をふれないように押してください。
TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。
カセットを入れたら、カセットぶたを押して閉めます。

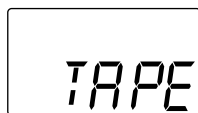
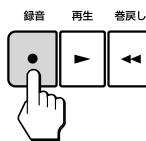
2

録音するものを選ぶ。

本体表示窓

CDを録音するとき
CDボタンを押して音源をCDに切り換え、CDを入れる(10ページ参照)。

ラジオを録音するとき
ラジオ･バンド 切換/オートプリセットボタンを押して音源をラジオに切り換え、録音する局を受信する(12ページ参照)。

本体表示窓

テープからテープへ録音するとき
テープボタンを押し、デッキBに再生するカセットを入れる。

本体表示窓

3

録音を始める。

CDを録音するとき

デッキAの●録音ボタンを押す。

►再生ボタンが同時に押され、CDが自動的に再生され録音が始まります。

ラジオを録音するとき

デッキAの●録音ボタンを押す。►再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

テープを録音するとき

1 デッキAの❚❚一時停止ボタンを押す。

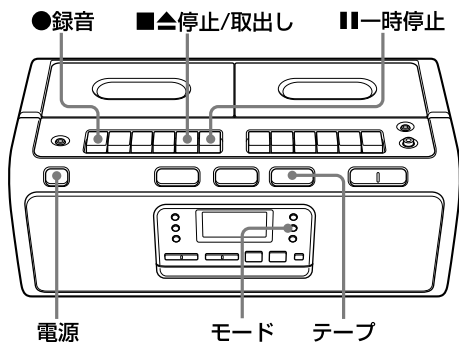
2 デッキAの●録音ボタンを押す。
►再生ボタンが同時に押され、録音一時停止状態になります。

3 デッキBの►再生ボタンを押す。
高速ダビングのときは、デッキBの高速ダビングボタンを押します。
デッキAの一時停止が解除され、録音が始まります。

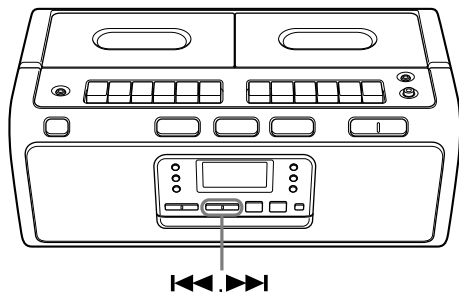
基本的な使いかた

ちょっと一言

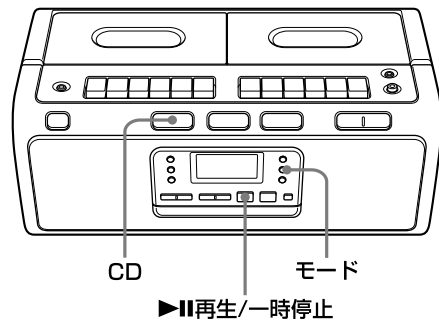
- 録音中、音量を変えても録音される音は変りません。
- AM放送を録音するとき、手順3の●録音ボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、モードボタンを押して雑音が消える状態（「ISS-1」）、「ISS-2」、「ISS-3」）を選んでください。
- 録音した音を消去するには
  1 音を消したいカセットをデッキAに入れる。
  2 テープボタンを押して音源をテープに切り換える。
  3 デッキAの●録音ボタンを押す。

その他の操作

こんなときは	操作のしかた
録音を止める	■⏏停止/取出しボタンを押す
録音を一時停止する	❚❚一時停止ボタンを押す もう一度押すと録音が始まる。
電源を入/切する	電源ボタンを押す

聞きたい部分を探す（サーチ）

CDの再生中に、⏮,⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すことができます。

探しかた	押すボタン/操作
聞きながら探す（サーチ）	再生中に⏮または⏭ボタンを押したままにする。
表示窓の演奏時間を見ながら探す	一時停止中に⏮または⏭ボタンを押したままにする。

繰り返し聞く（リピート再生）

CDの1曲または全曲を繰り返して聞くことができます。

1 CDボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

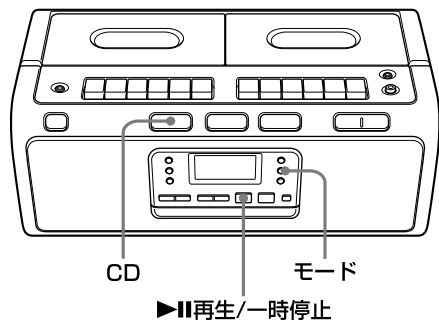
2 次の操作をする。

リピートの種類	押すボタン/操作
1曲だけ繰り返す	1 モードボタンを繰り返し押して「REP 1」を表示させる。 2 ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して曲を選び、►II再生/一時停止ボタンを押す。
全曲を繰り返す	1 モードボタンを繰り返し押して「REP ALL」を表示させる。 2 ►II再生/一時停止ボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 モードボタンを押して「SHUFFLE REP」を表示させる。 2 ►II再生/一時停止ボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 モードボタンを押して「PROGRAM REP」を表示させ、プログラムする（20ページ）。 2 ►II再生/一時停止ボタンを押す。

リピート再生をやめるには

モードボタンを押して「REP」表示を消します。
また、■停止ボタンを再生中に2回、停止中に1回押しても、リピート再生は解除されます。

順不同に聞く
(シャッフル再生)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

1 CDボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 モードボタンを押して「SHUFFLE」を表示させる。

3 ▶II再生/一時停止ボタンを押す。

再生が始まります。

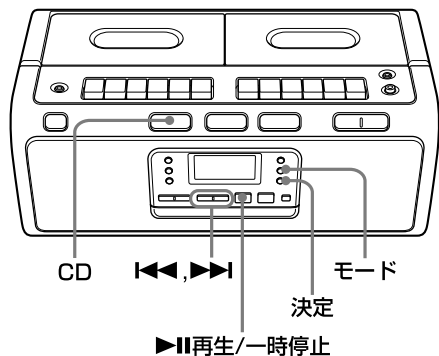
シャッフル再生をやめるには

モードボタンを押して「SHUFFLE」表示を消します。
また、■停止ボタンを再生中に2回、停止中に1回押しても、シャッフル再生は解除されます。

ご注意

シャッフル再生中は、I◀◀ ボタンを押して直前に聞いていた曲に戻すことはできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）

聞きたい曲を聞きたい順に20曲までプログラムすることができます。

1 CDボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 停止中にモードボタンを繰り返し押して、「PROGRAM」を表示させる。

3 ⏮または⏭ボタンを押して曲番を選び、決定ボタンを押す。

この操作を繰り返します。

4 ▶II再生/一時停止ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

停止中にモードボタンを押して「PROGRAM」表示を消します。

曲順を確認するには

停止中に、決定ボタンを繰り返し押します。押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

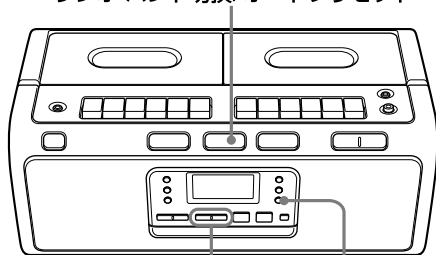
プログラムを変更するには

■停止ボタンを再生中は2回、停止中は1回押して現在のプログラムの内容を消してから、プログラムし直します。
また、CDトレイをあけてもプログラムの内容は消えます。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶II再生/一時停止ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。ただし、CDトレイをあけるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、デッキAに録音用カセットを入れ、●録音ボタンを押して録音を始めます。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。

1 ラジオ•バンド切換/オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

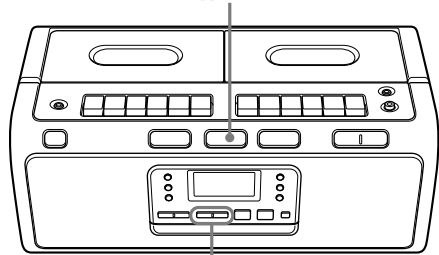
2 「AUtO」が点滅するまで約2秒間ラジオ•バンド切換/オートプリセットボタンを押したままにする。

3 決定ボタンを押す。
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった放送局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1. ラジオ•バンド切換/オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
2. 記憶させたい放送局を受信する。
3. 決定ボタンを約2秒間押したままにする。
4. プリセット+または−ボタンを繰り返し押して、記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
5. 決定ボタンを押す。
新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた放送局を聞く *（プリセット選局）*

あらかじめ記憶させておいた放送局を、簡単に選ぶことができます。

1 ラジオ•バンド切換/オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

2 プリセット＋または−ボタンを繰り返し押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

ラジオ

マイクで話す

1 ミキシングマイクジャックにマイク（付属）をつなぐ。

付属マイクのスイッチをONにします。

2 電源ボタンを押して電源を入れる。

3 CDボタンまたはテープボタンを押す。

4 マイクに向かって話す。

5 音量ボタンとマイク音量つまみで音量を調節する。

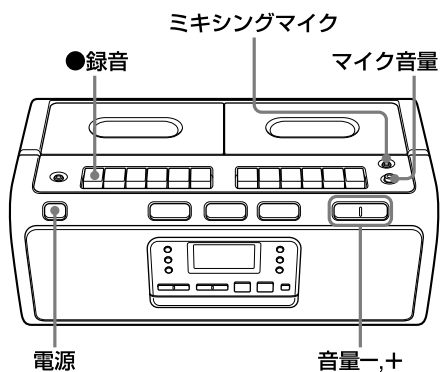
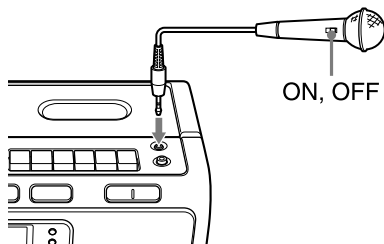
ご注意

- エコー内蔵のマイクは、ピーッという音（ハウリング）を起こしやすいので、マイク音量つまみでマイク音量を小さくしてお使いください。
- マイクを使っているときにハウリングが出たら、マイクの頭をスピーカーと違う方向へ向けてください。

ちょっと一言

付属マイクを使用しないときは、スイッチをOFFにします。

マイクミキシングする

CD、テープなどバックになる音に合わせて話したり、歌うことができます。ミキシングした音の録音もできます。

1 ミキシングマイクジャックにマイク(付属)をつなぐ。

付属マイクのスイッチをONにします。

2 電源ボタンを押して電源を入れる。

3 バックになる音の再生を始め、マイクに向かって話す、または歌う。

CDの場合:10ページ参照
ラジオの場合:12ページ参照
テープの場合:14ページ参照

4 音量ボタンとマイク音量つまみで音量を調節する。

ミキシングした音を録音するには

1 ミキシングマイクジャックにマイク(付属)をつなぐ。
付属マイクのスイッチをONにします。
2 電源ボタンを押して電源を入れる。
3 録音用カセットをデッキAに入れる。
4 バックになる音の再生を始める。
音量ボタンとマイク音量つまみでマイクの音量を調節します。録音されるマイクの音量はマイク音量つまみで調節します。
5 デッキAの●録音ボタンを押す。

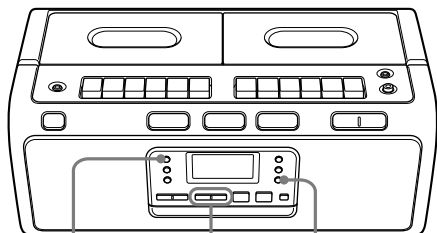
ご注意

- エコー内蔵のマイクは、ピーッという音(ハウリング)を起こしやすいので、マイク音量を小さくしてお使いください。
- マイクを使っているときにハウリングが出たら、マイクの頭をスピーカーと違う方向へ向けてください。
- ミキシングした音を録音するときは、高速ダビングボタンで高速録音することはできません。

ちょっと一言

付属マイクを使用しないときは、スイッチをOFFにします。

時計を合わせる

本機の時計は、時刻を合わせるまで表示窓で「－－：－－」が点灯しています。

操作の前に

電源の準備をしてください(9ページ参照)。

1 「時」が点滅するまで時計ボタンを押したままにする。

2 時刻を合わせる。

① I◀◀ または▶▶Iボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、決定ボタンを押す。

② I◀◀ または▶▶Iボタンを繰り返し押して「分」を合わせる。

3 決定ボタンを押す。

「00」秒から時計が動き出します。

電源が入っているときに時計を見るには

時計ボタンを押すと、時計が表示されます。もう一度押すと通常の表示に戻ります。

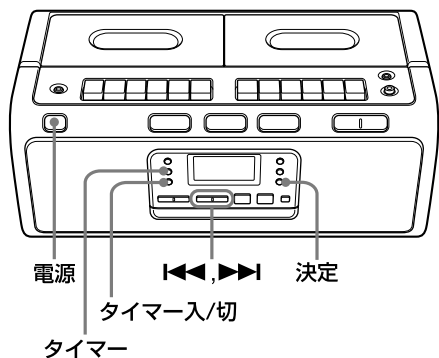
「－－：－－」が点灯しているときは

停電などで時計が止まっていたことを示しています。時計を合わせなおしてください。

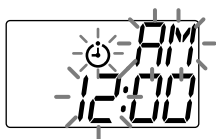
ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中：「AM12:00」
  正午　：「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。

音楽で目覚める

好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。

本機の時計を合わせてから操作してください（24ページ参照）。

1 **タイマーボタンを押す。**

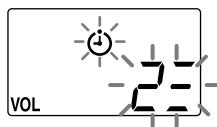
「⏻」と時計表示の「時」が点滅します。

2 **再生を始める時刻を設定する。**

① ⏮ または⏭ボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、決定ボタンを押す

② ⏮ または⏭ボタンを繰り返し押して「分」を合わせ、決定ボタンを押す

3 **手順2と同じように、再生を止める時刻を設定する。**

4 **⏮ または⏭ボタンを繰り返し押して聞きたい音源とバンド（ラジオの場合）を選び、決定ボタンを押す。**

5 **⏮ または⏭ボタンを繰り返し押して希望の音量を表示させ、決定ボタンを押す。**

6 **手順4で選んだ音源の準備をする。**

音源	準備
CD	CDを入れる
ラジオ	手順4で選んだバンド（FM, AM）の放送局を受信する

ラジオを音源に選んだ場合、必ず手順4で選んだバンドの放送局を受信してください。

7 **タイマー 入/切ボタンを押す。**

電源が切れ予約待機状態になり、「⏻」が表示されます。
予約した時刻になると自動的に再生が始まります。止める時刻に電源が切れ再び予約待機状態に戻ります。

次のページへつづく

予約した内容を確かめたり、変更するには

タイマーボタンを押したあと、決定ボタンを押します。決定ボタンを押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。予約内容の確認が終わったら、タイマーボタンを押します。

予約再生中、途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。

予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。
電源を切って予約待機状態にする前に、聞きたい放送局を受信してください。
(ラジオの場合、設定した放送局とは別の放送局を聞くと、予約した時刻にはその別の放送局が受信されます。ただし、設定したバンドとは異なるバンドの放送局を聞いたときは受信しなおす必要はありません。)

予約待機状態を取り消すには

タイマー 入/切ボタンを押して表示窓の「⏲」を消します。

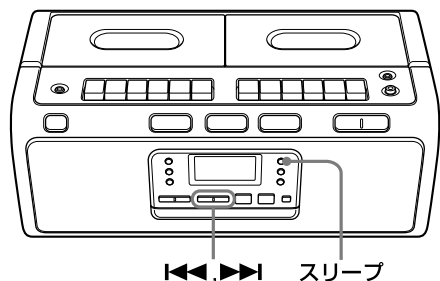
ご注意

- CDでお目覚めになりたいときは、CDが入っていることをお確かめのうえ、タイマーを設定してください。
- 故障の原因となりますので、テープのタイマー再生/録音はしないでください。
- 大きな音量に驚かないように、音量設定をしてください。

ちょっと一言

- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- タイマー再生の音源を変えることもできます。

音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音楽の再生を始める。

2 スリープボタンを繰り返し押して、時間(分)を選ぶ。

スリープボタンを押してから、⏮または⏭ボタンを繰り返し押して時間を選ぶこともできます。

「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。

おやすみタイマーを取り消すには

スリープボタンを繰り返し押して、「OFF」を表示させます。

または電源ボタンを押して、電源を切ります。

ちょっと一言

- 目覚ましとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから(25ページ)、電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- 目覚ましとスリープ機能で違う音源を聞くことができます。ただし、ラジオでは目覚ましで設定したバンドと同じバント内の別の局を設定することはできません。
- 目覚ましとスリープ機能で違う音量を設定できます。例えば小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。
- おやすみタイマーが働いているときは、表示窓の明かりが消灯し、「SLEEP」表示が点灯します。

ご注意

テープを聞きながらおやすみになるときは

片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の演奏が終わるまで電源は切れません。

タイマー

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて
  本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

  * CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。
- 著作権保護技術付き音楽ディスクについて
  本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠してないものもあり、本機で再生できない場合があります。
- DualDiscについて
  DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

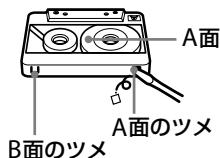
- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る一誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

エンドレスカセットテープについて

エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは36ページに記載されているソニーの相談窓口へお問い合わせください。

共通

症状	チェック項目
電源が入らない。	• 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。
音が出ない。	• 表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをヘッドホン(🎧)端子から抜く。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

症状	チェック項目
再生が始まらない。	• CDトレイが閉まっていることを確認する。
CDが入っているのに「no dIsc」が表示される。	• CDが裏返し。 → 文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。(28ページ) • レンズに露(水滴)がついている。 → CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 • CD-R/CD-RWに何も記録されていない。 • ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

その他

次のページへつづく

CD部

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。(28ページ) • CDに傷がある。 ➔ CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。 • 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。(28ページ)
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。

ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	• モードボタンを押して、「St」を表示させる。 • ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。
雑音が入る。	• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。モードボタンを押して「Mono」を表示させてください。音はモノラルになります。 • テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	● カセットぶたをきちんと閉める。
前の録音が完全に消えない。	● 消去ヘッドをクリーニングする。(32ページ) ● TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)テープを使っている。 ➔ 録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。
録音ができない。	● カセットを正しく入れる。 ● デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。
雑音が多い。 音質が良くない。	● ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(32ページ) ● 市販のヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。(32ページ)
音が歪む。	● TYPE II(ハイポジション)またはTYPE IV(メタル)テープはお使いになれません。TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

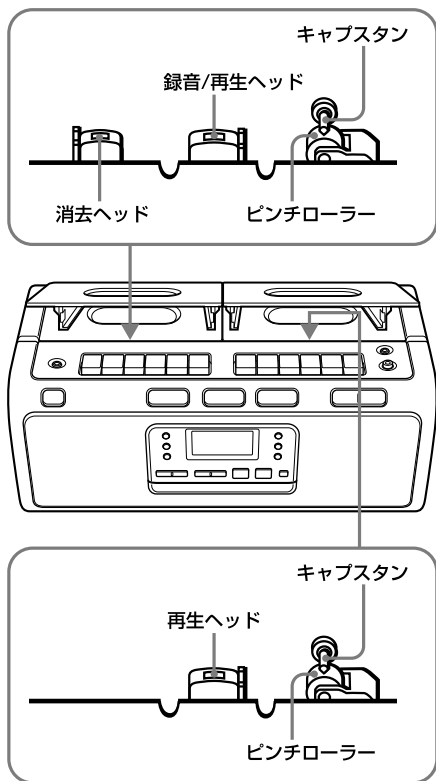
タイマー(時計)部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	● 時計を正しい時刻に合わせる。 ● 電源コードで使用中、停電があった。 ● 「⏻」表示が出ていることを確認する。

上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、メモリー用乾電池を取り出し、表示窓の表示が全く消えてから、再びメモリー用乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ·フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz - 20,000 Hz ＋1/－2 dB

ラジオ部

受信周波数	FM: 76 MHz - 90 MHz AM: 531 kHz - 1,629 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

カセットデッキ部·共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8 cm、 コーン型3 Ω、2個
早巻き時間	約2.5分（ソニーカセットテープC-60使用）
周波数範囲	TYPE I（ノーマル）カセット 80 Hz - 10,000 Hz（JEITA*）
入力端子	ミキシングマイクジャック（ミニジャック）1個 最小入力レベル 2.5 mv ローインピーダンスマイク用
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 Ω - 68 Ω
実用最大出力	2.5 W ＋ 2.5 W （JEITA/3 Ω）
電源	本体用： 家庭用電源 （AC100 V 50/60 Hz） メモリー用： 単3形乾電池3個使用 （DC 4.5 V）
消費電力	17 W
最大外形寸法	約350 mm × 158 mm × 207 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA）
質量	本体　約3.3 kg ご使用時　約3.4 kg （乾電池、CD、テープ含む）
付属品	電源コード（1）** 外部マイク（1） 取扱説明書·保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

**付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

1 ヘッドホンジャック（ステレオミニジャック）

2 デッキA操作ボタン
- ●録音ボタン（17, 23）
- ►再生*ボタン（14）
- ◄◄巻戻しボタン（15）
- ►►早送りボタン（15）
- ■⏏停止/取出しボタン（14～17）
- ❚❚一時停止ボタン（15, 17）

3 デッキAカセットぶた（14, 16）

4 デッキBカセットぶた（14, 16）

5 デッキB操作ボタン
- 高速ダビングボタン（17）
- ►再生*ボタン（14）
- ◄◄巻戻しボタン（15）
- ►►早送りボタン（15）
- ■⏏停止/取出しボタン（14～17）
- ❚❚一時停止ボタン（15, 17）

6 ミキシングマイクジャック（ミニジャック）（22, 23）

7 マイク音量つまみ（22, 23）

8 電源ボタン（11, 13, 15, 17, 22, 23, 26）

9 CDボタン（16, 18～20）

10 時計ボタン（24）

11 タイマーボタン（25, 26）

12 タイマー 入/切ボタン（25, 26）

13 選局－、＋ボタン（12）

14 ◄◄、►►/プリセット－、＋ボタン（11, 18, 20, 21, 24, 25）

15 表示窓

16 ►❚❚再生/一時停止ボタン*（10, 11, 18～20）

17 ■停止ボタン（11, 19, 20）

18 ⏏CD開/閉ボタン（10, 11）

19 決定ボタン（20, 21, 24～26）

20 モードボタン（13, 17～20）

21 スリープボタン（27）

22 ラジオ•バンド切換/オートプリセットボタン（12, 16, 21）

23 テープボタン（14, 16, 17）

24 音量－、＋*ボタン（11, 13, 15, 22, 23）

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

索引

五十音順

ア行

頭出し
　CD 11
お手入れ 32

カ行

乾電池
　メモリー用 9
繰り返し聞く 18
決定 20、21、24、25、26
高速ダビング 17

サ行

サーチ 18
再生する
　CD 10
シャッフル再生 19
受信状態を良くする 13
接続
　電源コード 9
　マイク 22、23

タ、ナ行

タイマー
　スリープ 27
　目覚まし 25
調節する
　音量 11、13、15、22、23
　マイク音量 22、23
テープ 14、16
電源
　家庭用コンセント 9
時計を合わせる 24

ハ行

プログラム再生 20
ヘッドの消磁 32
放送局を記憶させる 21

マ、ヤ行

マイク 22、23
マイク音量つまみ 22、23
マイクで話す 22
マイクミキシング 23
ミキシングマイクジャック
　22、23

ラ、ワ行

ラジオ 12
リピート再生 18
録音
　誤消去防止 28
　CD 17
　ミキシングマイク 23
　ラジオ 17

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2531**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

品　名　CDラジオカセットコーダー

型　名　CFD-W78

保証書　T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

「お問い合わせ窓口のご案内」については、36ページをご覧ください。

ソニー株式会社
〒108-0075
東京都港区港南1-7-1

Printed in Japan